

「原爆の日を忘れないための一行のコトバ」 入選作品紹介

原爆で何人の人がこの星を去ったのだろう 原爆で何人の人の生活が変わったのだろう
原爆で何人の人がこの星のこわさを知ったのだろう
そんなことも知らずに 私はこの星に生きている (1年生 阿部 真結 さん)

あの日を最後にしよう 核兵器 (1年生 菊谷 恵理 さん)

世界で唯一の被爆国の悲しみを世界に発信 SNS (1年生 鎌田 淳太郎 さん)

世界中で、原爆のおそろしさを知り、兵器の使用、保有をやめるために、
日本から原爆について、発信すべきだと思った。 (2年生 佐久間 美羽 さん)

原爆はすべてを消し飛ばせるが、その記憶は消し飛ばせない。(2年生 井筒 太一さん)

耳を傾けよう 被爆者の語りかけに 受け止めよう 彼らの願いを
伝えよう 続く平和のために (2年生 ケナー 真結 さん)

今、私たちはこの瞬間、原爆が落ちるなんて思ってもいないように、
あの日、あの場所にいた人たちも同じ気持ちで過ごしていた。(2年生 梶浦 菜々 さん)

みないフリをしないで (3年生 國井 日暖 さん)

七十年前の「あの日」の声に、叫びに、戦争を知らない私ができるのは、
平和への信念を胸に「あの日あの時」を祈ること。
今年もまた「あの日」の叫びが聞こえてくる。 (3年生 本部 咲羽 さん)

知りたくなくても 知らなければならない。見たくなくても 見なければならない。
”あの日”何があったのかを。だって日本人だから。 (3年生 武藤 千尋 さん)

今、空を見上げる私に降りそそぐのは透明な雨
あの日、空を見上げて人に降りかかったのは黒い雨
透明な雨よ、続け。 (3年生 池田 茉莉百 さん)

原爆について、まずは自分が知り、日本人が知り、そして世界に知ってもらう。
言葉というバトンをたくさんの人に渡し、そのバトンを受け継いでいくべきである。
(3年生 山本 怜佳 さん)

原爆ドームは残したくて残っているものじゃない。
だから私たちは、あの日あったことにもっと目を向け、知ろうとしなきゃいけない。
そうしないと人々の思いや声が途切れてしまうから。 (3年生 丹羽 一花 さん)

いつだろう 戦争をしないと誓った きっかけの日。 (3年生 今井 陽菜 さん)

当たり前毎日なんてどこにもない あの原爆の日のように (3年生 湯浅 渚 さん)

原爆の恐ろしさを世界中に発信する、
それは 今を生きる私たちにとっての「使命」ではないか。 (3年生 佐藤 結菜 さん)